日本離床学会
教育講座

講座コード
R-32

がん領域における 看護ケアとリハビリテーション

～発症から終末期までのエビデンスと臨床介入のポイント～

日　時：2024年 **5月26日（日）10:00～16:10**
場　所：インターネット生ライヴ中継　　見逃し受講期間２週間あり
講　師：櫻木 聡 先生（名古屋医療センター）
対　象：看護師・PT・OT・ST（左記以外でも受講可）　※先着順：定員になり次第締切り
受講料：会員 9,800円（税込）一般 12,800円（税込）　新入会 会費無料

検査・治療・メンタルケア…あふれる情報を一気に整理する秘策とは？

一言で「がん」と言っても、原発巣によって多彩な症状や合併症が。。。　がんの領域は、急性期から終末期での幅広い対応も重要で、あまりに情報が多すぎてついつい学びが後回しになりがちです。そこでこの講座では、がんができるメカニズムから治療法、副作用、精神的なケアなど、がんの看護ケア・リハビリに関わるスタッフが必要とされる知識をキュッと絞って習得。１日で充実の成果をお約束します。さあ、あなたも長年がん領域に携わるベテラン講師によりエビデンスと経験知を学んで、臨床力をアップしてみませんか？

がんの急性期から終末期の対応まで網羅する ベテランの“経験知”がつまった集中プログラム

Lesson 1 基礎編
ベテランが直伝! 絶対に押さえたいがんリハのポイント全集

- がんに離床は有効？
  がんの離床・リハビリテーションのエビデンス
- 腫瘍の特徴・原因別・チーム医療のコツ
- がんの病期をおさえることが重要！
  役に立つDietzの分類と離床の考え方を覚えよう

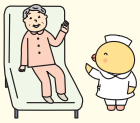
Lesson 2 検査・治療編
頭のゴチャゴチャを一発整理! がんの検査・治療・有害事象について学ぼう

- がん患者をみるために必要な
  検査データ・画像読影のポイント
- 「手術」「放射線」「薬物療法」
  治療別のケア・リハビリのポイント
- 「倦怠感」「吐気」「血球減少」などの
  有害事象の発症時期とケア・リハビリの注意点
- 検査の日に離床していいの？
  がんに関わる検査と離床の注意点

Lesson 3 進行期編
がんの進行期にみられる 離床の問題点とその対策

- 起こしていいの？
  骨転移に特化した離床可否の判断
- がん性疼痛で離床が進まない！
  そんな時に知って役立つ痛みの強さ・種類別鎮痛薬の使い方
- すぐに疲れてしまう・・
  悪液質？サルコペニア？栄養評価を学ぼう

Lesson 4 終末期編
がんの終末期に何ができるの? できることと限界点



- 部屋に入りづらい・・メンタルサポートのコツと
  患者家族とのコミュニケーション術
- 終末期の患者さんが呼吸苦を訴えている！
  そんな時にできる呼吸ケア５選
- この浮腫は治るの？
  進行期、終末期における浮腫対策のポイント
- 気力が出ない・・・ もしかして燃え尽き症候群？
  燃え尽きる原因と対処法を覚えよう

※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース１単位を取得できます。

受講方法

① ホームページよりオンライン登録

日本離床学会　検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！ 日本離床学会
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラーレルビル2F
ホームページ http://www.rishou.org/
TEL 03-3556-5585　FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org